

産業界におけるカーボンニュートラル研究会

研究会の概要・2026年度活動計画

2026年4月20日

(一財) 大阪科学技術センター
CN研究会事務局

目次

- 1. 研究会の目的・特徴・運営体制**
- 2. 全体計画と今後の活動内容**
- 3. 2026年度の活動計画**
- 4. 会員について**
- 5. 参考資料(これまでの活動実績)**

本研究会の目的と特徴

- 目的.** 最終的なカーボンニュートラル社会を実現できるカーボンニュートラルシステムとはどういうものか、それを成立させるための技術オプションは何かを、業界を越えた知見の集約と率直な議論により、明確化・共有することにより、一社では対応できない対策立案に資する。（研究会として何らかの統一見解を出して政策提言をすることを目的とするものではない。）
- ・ 課題解決に向けた長期的な技術開発の促進につなげられるよう、業界を超えた技術者人脈を形成する。
 - ・ 製造業を中心とした産業セクターにおいて、製品ライフサイクルでのカーボンニュートラルの成立を総合的にとらえ、業界横断でその課題解決を加速することにより、日本の産業の競争力を高め、持続可能な産業の発展につなげていくことを最終目的とする。

特徴

1. 業界横断で自由に議論できる場

- ・カーボンニュートラルシステムの実現に向け、業界横断的な機関による継続的な活動
- ・大阪で開催という土地柄を活かし一歩踏み込んで自由闊達に議論できる場を提供

2. カーボンニュートラルに関わる技術にフォーカス

- ・カーボンニュートラルに関わる技術にフォーカスし、深掘りした情報を網羅的に提供
- ・課題解決に向けた技術開発・研究開発など自社事業への落とし込みに役立つ情報の提供

3. 長期的な視野の下、共創の機会・人材の育成

- ・一社では対応できない対策の立案に役立つ共創の機会の提供
- ・カーボンニュートラルの担い手となる人材の育成

2026年度運営体制

OSTEC技術開発委員会

委員長： 藤村 明生 住友電気工業(株) 執行役員
アドバンストマテリアル研究所 所長

産業界におけるカーボンニュートラル研究会

会長：小林 英樹 大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 教授
(サステナブルシステムデザイン学領域)

副会長：関根 泰 早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 教授

事務局：OSTEC

幹
事
会

会長の指導の下、運営方針、具体的な講演テーマ・講師の選定等を行う。

幹事長会社：住友電気工業

幹事機関：RITE、産総研

幹事会社：大阪ガス、大林組、カナデビア、関西電力、ダイキン工業

大和ハウス工業、三菱電機

幹事会メンバーは今後、増員する可能性もある。

企業会員 27社

学識会員 8名

オブザーバー 8機関 (2026年4月1日現在)

2026年度全体計画

1. 研究会の主旨

カーボンニュートラルシステムの実現に向け、業界横断的な機関による継続的な活動を通じて、

- ✓ カーボンニュートラルに関わる技術にフォーカスし、深掘りした情報を網羅的に提供
- ✓ 課題解決に向けた技術開発・研究開発など自社事業への落とし込みに役立つ情報の提供
- ✓ 大阪で開催という土地柄を活かし一歩踏み込んで自由闊達に議論できる場を提供
- ✓ 業界を越えた技術者や有識者とのネットワーク形成
- ✓ 一社では対応できない対策の立案に役立つ共創の機会の提供
- ✓ カーボンニュートラルの担い手となる人材の育成

を行い、各会員が自社のカーボンニュートラルに向けた方針や必要なR&D項目を明確化できることを目指し、日本の産業競争力を高め、持続可能な産業の発展につなげていく。

2. 2026年度の活動方針

2025年度と同様日本版カーボンニュートラルシステムを考える上で必要となる、各業界でのカーボンニュートラルに向けたトランジションの取り組みやそれを達成するための必要技術や課題などの共有・理解を目指す。

2026年度の活動計画案(1)

1. 年間テーマ 「日本版カーボンニュートラルシステム実現に向けたトランジション・パート2」

2. 定例研究会

- 定例研究会は2025年度と同様、**8回開催**する。うち1回はCNにかかわる設備見学会とする。
- 見学会以外では、各回重要ポイントとなるテーマについて**講演3件程度**と**総合討議**で構成し、討議では論点を明確にした議論を行うこととし、**最終回**で、それらを総合し、**日本版カーボンニュートラルシステムのトランジションについてのまとめ**を行う。
- 見学会以外はOSTEC会場とZoomのハイブリッド開催とし、終了後、立食形式の交流会も行う。
- 定例研究会 開催計画(案) ※下記の内容は現時点での案であり、変更の可能性あり。

No.	開催日	テーマ案
33	5月25日	CNに向けた国内外の動向
34	6月17日	工業地帯や港湾におけるCN化に向けた連携
35	7月29日	ペロブスカイト太陽電池、アンモニア、原子力
36	9月24日	(見学会)RITE バイオものづくり実験棟・炭素回収技術評価センター
37	10月6日	電力需給・インフラ整備等 (電力・通信インフラ等の整備)
38	10月23日	街のカーボンニュートラル化
39	12月 1日	洋上風力、次世代型地熱、フュージョンエネルギー
40	1月15日	トランジションのまとめ

2026年度の活動計画案(2)

3. グループワーク

- ・目的 実際のCNの実現を担う、業界横断的なシステムの思考ができる若手技術者の育成、および、CN実現に必要な業界を超えた人脈の形成
- ・メンバー 新規募集無し(2025年度募集メンバーの継続)
(企業でカーボンニュートラルに関連する業務を担当している若手技術者)
* 人事異動等による交替はあるが、途中の募集は行わない。
- ・アウトプット 日本版カーボンニュートラルシステムのイメージの例示(内容は検討中)
- ・指導者 小林会長(および村田講師(小林研究室))
- ・期間 2026年6月～2027年1月(2年計画(2025年～2027年)の2年目)
- ・会合 年5,6回程度、原則として、1回半日程度@大阪大学吹田キャンパス
- ・報告 2026年度の定例研究会の最終回で最終報告
- ・参加費 研究会費に含まれるが、教材や懇親会費等は実費負担

2026年度全体スケジュール(案)

	2025年度			2026年度												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
新規会員募集				<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参加者募集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">随時参加者募集</div> </div>												
定例研究会 (講演会はOSTEC会場とZoomのハイブリッド)					第33回 ◆ 5/25	第34回 ◆ 6/17	第35回 ◆ 7/29		第36回 ◆ 9/24 見学会	第37回 ◆ 10/6	第38回 ◆ 10/23	第39回 ◆ 12/1	第40回 ◆ 1/15			
グループワーク (主に阪大吹田キャンパス)					<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">◆ 6/8</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">第6~10回</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">● 最終発表</div> </div>											
運営	CN 研究会 幹事会 ◆	技術 開発 委員会・ 幹事会 ◆	技術 開発 委員会 ◆	◆					CN 研究会 幹事会 ◆					CN 研究会 幹事会 ◆	技術 開発 委員会	
2026年度活動計画			正式 決定	案HP 掲載	会費 請求											

※ スケジュールの詳細は現時点での予定で有り、変更になることが有ります。

4月末まで2026年度新規会員を専用ホームページで募集

<https://carbon-neutral.ostec.or.jp>

OSTECホームページからのリンクあり

CN研究会 **で検索**



会員種別と会費

1. 企業会員

- ・本研究会の目的に賛同する企業。研究会の目的から、様々な業界より参画していただくことが望ましいため、OSTEC賛助会員に限らず、広く産業界からの参加を募集する。
具体的な参加者は、技術を議論することが主たる活動内容であることから、カーボンニュートラル関連技術の研究開発に携わる技術者、企画担当者を想定しているが、限定するものではない。

2. 学識会員

- ・カーボンニュートラル関連技術の研究開発を行っており、本研究会に有益な情報を提供できる、大学、国研等の研究者。

3. オブザーバー

- ・カーボンニュートラルのR&D・施策にかかわる国・地方自治体の部署及び関係団体。

4. 会費

- ・企業会員(大企業)は年会費(275,000円/社、OSTEC賛助会員は220,000円/社)、企業会員(中小企業*)は年会費(137,500円/社、OSTEC賛助会員は110,000円/社)をご負担いただくことで、研究会には人数の制限なく参加できる(一部、運営上人数を制限せざるを得ないものを除く)。*:中小企業庁の定義による、また金額は税込。
- ・学識会員、オブザーバーは無料。
- ・いずれの参加者についても、交流会、見学会の旅費等は別途参加費を徴収する。

会員を専用ホームページで募集中

<https://carbon-neutral.ostec.or.jp>

OSTECホームページからのリンクあり

CN研究会 で検索



会員リスト

1. 企業会員(五十音順)

旭化成(株)	(株)クボタ	ダイキン工業(株)	
NTN(株)	(株)栗本鐵工所	大和ハウス工業(株)	
ENEOS(株)	(株)KRI	(株)竹中工務店	
大阪ガス(株)	(株)神戸製鋼所	TOYO TIRE(株)	
大阪ガスケミカル(株)	堺化学工業(株)	東洋紡(株)	
(株)大林組	(株)島津製作所	(株)日本触媒	
カナデビア(株)	住友精化(株)	(株)堀場製作所	
川崎重工業(株)	住友電気工業(株)	三菱電機(株)	
関西電力(株)	積水化学工業(株)	村田機械(株)	計27社

2. 学識会員(五十音順、敬称略)

赤松 史光	大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 教授
荻本 和彦	東京大学 生産技術研究所 特任教授
栗山 信宏	国立研究開発法人産業技術総合研究所 研究戦略本部 知財・標準化推進部標準化 推進室 標準化オフィサー
廣田 典昭	公益財団法人地球環境産業技術研究機構 副所長
村田 秀則	大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 講師
横本 克巳	九州大学 水素材料先端科学研究センター 特任教授
山田 秀尚	金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 教授
和田 謙一	公益財団法人地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ 主任研究員

※2026年3月現在

以下参考資料 2025年度の活動実績

2025年度活動概要

活動内容

(1) 有識者による講演会と見学会を開催〔定例会／8回〕

年度テーマを「日本版カーボンニュートラルシステム実現に向けたトランジション」とし、各業界でのカーボンニュートラルに向けたトランジションの取り組みやそれを達成するための必要技術や課題などの共有・理解を目的に各業界、学界、政府等の有識者による講演会を来場とWebのハイブリッドで年間7回開催した。

そのほかカーボンニュートラルにかかわる設備見学会を1回実施。

各回テーマを決めて3件の講演と総合討議を実施。研究会後は立食形式の交流会により交流を図った。

(2) グループワーク(若手メンバーの育成)

2年間の活動の1年目の活動を行い、日本版カーボンニュートラルシステムのイメージの例示を行った。

(詳細P17-18参照)



講演会(会場)

定例研究会風景



見学会

見学会 関西電力 舞鶴火力発電所



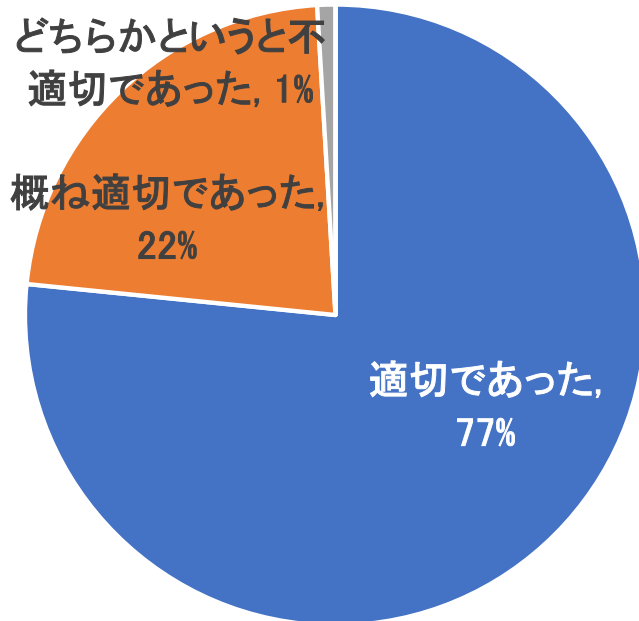
グループワーク

グループワーク風景

2025年度の研究会活動について

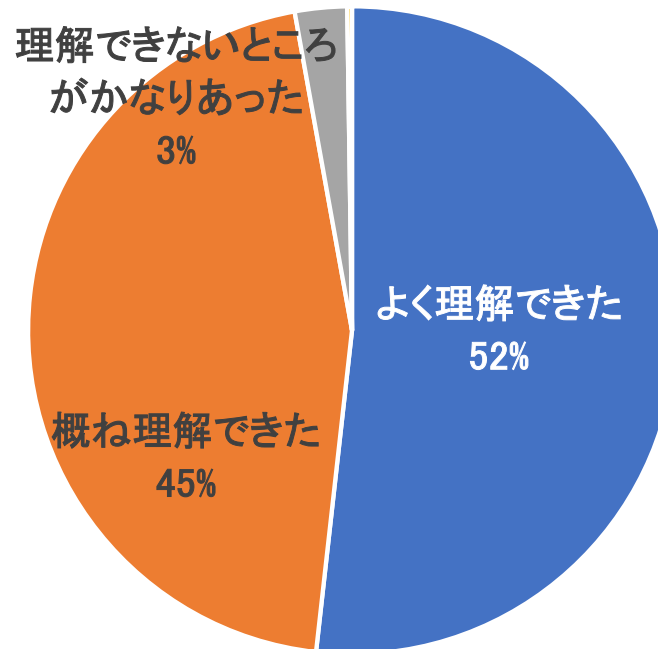
2025年度第25回～第32回アンケート結果まとめ

1, 講演テーマ・内容は、テーマの演目として適切でしたか？



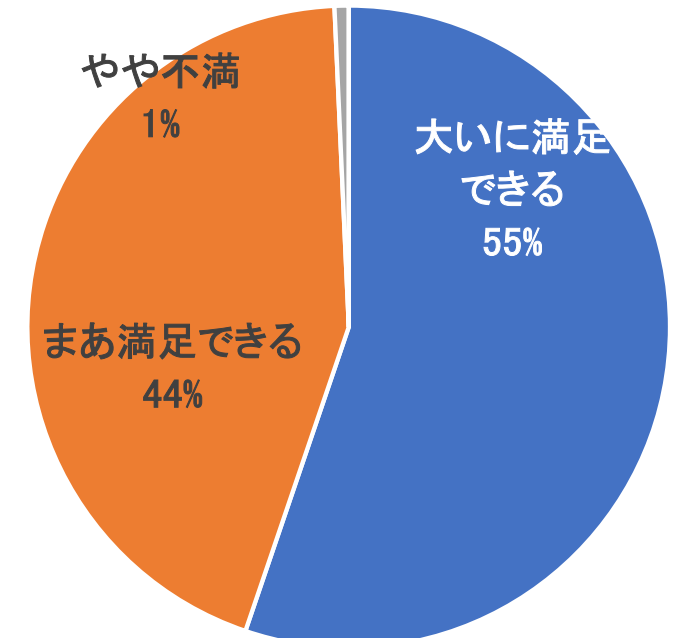
適切であった・概ね適切であったと99%の方が回答

2, 内容は理解できましたか？



よく理解できた・概ね理解できたと97%の方が回答

3, 講演内容は、期待に対して満足できるものでしたか？



大いに満足できる・まあ満足できると99%の方が回答

5. その他・ご意見・ご要望

- ・いつも有意義な講演をありがとうございます。非常に興味深い内容で大変勉強になりました。
- ・また賛同する話も多く参考にさせていただきます。
- ・CN関連は世界が直面する課題ですので世界の状況もお教えいただけると興味深いです。
- ・各分野での情報が入ることは非常にありがたい。
- ・普通では面識の薄い業界の方とも話ができる機会があることも非常に喜ばしい。

2025年度研究会開催実績(1)

テーマ「日本版カーボンニュートラルシステム実現に向けたトランジション」

1. 第25回定例研究会(5/9) テーマ『どうなる？カーボンニュートラルへの道筋』 参加者143名
 ～カーボンニュートラルに向けた様々な枠組みと最新政策動向～

講演① 「エネルギー・気候変動対策関連政策の検討動向」
 (一財)日本エネルギー経済研究所、理事、電力ユニット担任 工藤 拓毅 氏

講演② 「世界のカーボンニュートラル動向」
 (公財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ 主任研究員 和田 謙一 氏

講演③ 「カーボンニュートラルシステムへの移行に向けた方策」
 大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授 小林 英樹 氏

2. 第26回定例研究会(6/23) テーマ「電源構成はシナリオどおり進むのか？」 参加者 109名
 ～エネルギー分野のトランジション(1) 電力部門(脱炭素燃料混焼,非化石電源)～

講演① 「クボタの営農型太陽光発電事業について」
 (株)クボタ イノベーションセンター カーボンニュートラルビジネス企画室 室長 楠本 敏晴 氏

講演② 「J-POWERの火力発電トランジション技術」
 J-POWER / 電源開発(株) 執行役員 岩崎 豪徳 氏

講演③ 「電力部門のトランジション全体像」
 (一財)日本エネルギー経済研究所 電力ユニット 電力グループマネージャー 大西 健一 氏

3. 第27回定例研究会(7/14) テーマ「トランジション期における燃料 vs 電化」 参加者111名
 ～エネルギー分野のトランジション(2)非電力部門(天然ガス,水素等,バイオマス)～

講演① 「e-メタンによる暮らしや産業を変えないカーボンニュートラル化への挑戦」
 大阪ガス(株) エグゼクティブフェロー 大西 久男 氏

講演② 「産業分野の電化について(産業ヒートポンプを中心に)」
 いのうえ技術経営事務所 井上 和茂 氏

講演③ 「コスモ石油のSAF取組みについて」
 コスモ石油(株) 次世代プロジェクト推進部 部長 後藤 真也 氏

2025年度研究会開催実績(2)

4. 第28回定例研究会(9/16) テーマ『こうなる！？エネルギー分野のトランジションを深堀』 参加者126名
～カーボンニュートラルに向けた様々な枠組みと最新政策動向～
- 講演① 「第7次エネルギー基本計画の概要と需給シナリオ分析の解説」
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ
グループリーダー・主席研究員 秋元 圭吾 氏
- 講演② 「トランジション期の資源調達」
独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 エネルギー事業本部 企画調整部長 野田 太一 氏
- 講演③ 「エネルギー分野のトランジション総括」
早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 教授 研究戦略センター センター長 関根 泰 氏
5. 第29回定例研究会・施設見学会(10/7) 参加者 18名
見学施設:関西電力(株)
見学内容
- ・ 大飯発電所 (福井県大飯郡おおい町大島1字吉見1-1)
エルガイアおおい、原子力発電所
 - ・ 舞鶴発電所 (京都府舞鶴市千歳 560番地5)
舞鶴発電所の概要、構内見学
川崎重工業(株)施設 CO2分離・回収実証試験設備視察
6. 第30回定例研究会(11/18) テーマ 『どう挑む？鉄鋼・化学工業のカーボンニュートラル』 参加者137名
～産業部門(鉄鋼、化学等)におけるトランジション～
- 講演① 「日本製鉄のGX(グリーントランスフォーメーション)の取組み」
日本製鉄(株)グリーントランスフォーメーション推進本部 参与 堀見 泰資 氏
- 講演② 「カーボンニュートラル実現に向けた三井化学の取組み」
三井化学(株) 技術戦略室 三井化学カーボンニュートラル研究センター センター長 岡崎 信也 氏
- 講演③ 「GX政策の動向と鉄鋼・化学の取組」
経済産業省 GXグループ GX推進企画室長 河野 孝史 氏
(オンラインよりご講演)

2025年度研究会開催実績(3)

7. 第31回定例研究会(12/12) テーマ「暮らしにおける身近なトランジション」 参加者68名
～運輸・家庭・業務部門(自動車、住宅、都市等)におけるトランジション～
- 講演① 「家庭部門のカーボンニュートラル化に向けた課題整理：既築住宅の給湯設備に着目して」
(株)住環境計画研究所 副主席研究員 平山 翔 氏
- 講演② 「「運ぶ」の未来に向けたいすゞの取り組み」
いすゞ自動車(株) カーボンニュートラル戦略部門 VP 呉東 浩嗣 氏
- 講演③ 「暮らしにおける身近なトランジション」 建築分野のトランジション
(株)竹中工務店 技術研究所 副所長 奥田 信康 氏
8. 第32回定例研究会(1/16) テーマ「まだまだある！トランジション期のテクノロジー」 参加者92名
～その他のトランジション関係～ or ～日本版カーボンニュートラルシステムのトランジションの整理～
- 講演① 「バイオマス専焼化に向けた技術的課題と解決策」
(株)響灘火力発電所 取締役所長 宮本 君行 氏
- 講演② 「欧米エネルギーx クリーンテック→ エナジートランジション」
東北電力(株) 事業創出部門アドバイザー 出馬 弘昭 氏
- グループ中間発表
「ビル・商業系で使用されるエネルギーバランスフロー(電力・燃料)について」
ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター 武内 久也 氏
住友電気工業(株)日新住電エネルギーシステム開発センター 市瀬 篤博 氏
- 講演③ 「変容を視野に入れたシステム移行」
大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授 小林 英樹 氏